



平成27年度シンポジウム

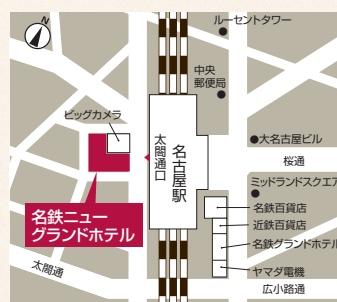
社会に羽ばたく博士人材の育成 ～博士人材の育成手法の評価方法論～

名古屋大学博士課程教育リーディングプログラム「PhDプロフェッショナル登龍門」では、海外の大学改革の経験を共有・検討するために国際シンポジウムを開催致します。世界的な規模で進む高等教育の再編に関する情報を共有し、今後の日本の博士人材育成のあり方を検討するために、ご出席いただければと存じます。

2016年2月17日 水 10:00
17:00 (9:30 開場)

名鉄ニューグランドホテル 7階 椿の間

東海道新幹線「名古屋」駅下車、太閤通口から徒歩3分



プログラム(予定)

第1部 博士人材の育成手法の評価方法論 ～大学改革における博士人材育成の国際比較～

日本で進められている大学改革において、博士人材の育成は重要な柱となっており、各大学で様々な取り組みが実施されています。今後は、各大学における博士人材育成の経験を踏まえて、その成果を評価し、経験と教訓を共有し、モデル化していくための評価手法を開発することが重要な課題になると思われます。博士人材育成の先進事例である海外の大学での評価手法を比較検討することは、リーディング大学院を含む日本の高等教育の今後を考えるためにも重要だと考えます。そこで、本シンポジウムでは、海外における博士人材育成に対する評価手法の内容と経験を検討することにより、日本の大学改革に対する示唆を得ることを期待します。

- 10:00・10:10 来賓挨拶 文部科学省 高等教育局 (予定)
- 10:10・10:15 開会挨拶 松尾清一 (名古屋大学総長)
- 10:15・11:00 基調講演 David Swinbanks, Ph.D.
(Global Head of Nature Index Nature Research Group)
- 11:00・11:30 基調講演 依田高典 (京都大学経済学研究科教授)
- 11:30・12:00 基調講演 藤巻 朗 (名古屋大学PhD登龍門プログラム担当者、工学研究科教授)
- 12:00・13:00 パネルディスカッション
・David Swinbanks, Ph.D.
(Global Head of Nature Index Nature Research Group)
・Dr. Jon Turner
(Director of Institute for Academic Development The University of Edinburgh)
文部科学省 高等教育局 (予定)
依田高典 (京都大学経済学研究科教授)
モデレーター: 戸渡文子 (ブリティッシュ・カウンシル プロジェクトマネージャー (教育推進・連携))

※講演者、パネリストは都合により変更になる可能性があります。

第2部 名古屋大学PhD登龍門の取り組み

これまでのPhD登龍門の取り組みを、新たにスタートしたノースカロライナ・アンビションキャンプの事例を中心に紹介します。

言語 日本語・英語 (同時通訳あり)

- 14:00・14:05 開会挨拶 前島正義 (名古屋大学副総長)
- 14:05・14:35 PhD登龍門の活動と展望
杉山 直 (名古屋大学PhD登龍門コーディネーター、理学研究科教授)
- 14:35・17:00 活動報告、全体討論
Michael Bustle (Associate Vice Provost for International Affairs / Director of The Global Training Initiative NC State University) 他
- 17:30・19:30 意見交換会 (希望者のみ)

参加申込

参加をご希望の方は、お名前・ご所属・ご身分・連絡先 (メールアドレス、電話番号)、および意見交換会 (会費2,000円を頂戴します) への出欠の有無につきまして、2月12日 (金) までに10ryumon03@adm.nagoya-u.ac.jpへメールにてお知らせ下さい。意見交換会への参加希望者には、別途、会場をお知らせします。

【協力】 ブリティッシュ・カウンシル

【後援】 ■ 中部経済同友会 ■ 中部経済連合会
■ 名古屋商工会議所 ■ 愛知日英協会